

ケアウォーター その使命は

美容に・肌にとって最も重要な



水分補給

をすること。 それも細胞レベルまでしっかり潤す。

人間のからだは、約70%以上が水分。

からだを構成する細胞には、十分な水分が欠かせません。

肌のトラブルは、そのほとんどがこの水分="潤いの不足"のため。

トラブルで悩んでいる肌は、その細胞レベルまでしっかりと潤せば、確実に本来の力は取り戻せます。



では普通の水ではダメなの?



ケアウォーターは、普通の水に比べて分子のかたまりがうんと小さいため、普通の 水が入り込めないところまで浸透することができるのです。

水に比べて何と 107倍(!) もの浸透力があるため、肌の深部にまで水分を素早く・しっかりと行きわたらせることができるのです。

水の107倍の浸透圧だと…。

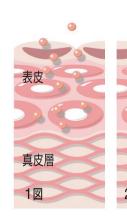
水分が深く真皮層へ浸透肌を活性化します。

ケアウォーターはクラスター (分子のかたまり)がナノの分子量で、肌への浸透力が高く水分を深く真皮層へ浸透させ、肌や髪の潤いを持続させます。

	ph	表面張力 (dyna/cm)	浸透圧 (mOsm)
ケアウォーター	12.20	56.1	107
強アルカリ性電解水	12.38	71.1	22
強酸性電解水	2.47	73.1	5
精製水	5.63	72.8	1

真皮層に素早く浸透。

通常化粧品に使われる精製水は浸透力は弱く、肌の表皮程度への浸透しかすることができません。ケアウォーターは素早く真皮層に深くとどき水分を補給し潤いを持続します。



1図 美容液(精製水ベース) のほとんどは真皮層に 達しません。

2図 ケアウォーターとまぜ た美容液は107倍の真 皮層まで成分を運びま す





でも成分は安全なの?



ケアウォーターが優れている点のもう一つは、「安全で無害」ということ。 いくら浸透力が優れていても、有害物質を含んでいては何にもなりません。 ケアウォーターは、成分でその効果を発揮するのではありません。分子がうんと小 さいというケアウォータ自体が持つ性質、そしてイオン化されているという科学的 働きによって効果を発揮するのです。ですからケアウォーターは、安全で安心。 良質の水分を肌の細胞にまで確実に浸透させられるのです。



その他にも



水なのに除菌・抗菌できるの清潔な水。

ケアウォーターは、PH12の強アルカリ性の水。肌に付くと、肌の雑菌を除菌し、それとひき替えに中性化します。このため、肌に付けても安全です。

水なのに釘が錆びない不思議な水。

鉄が錆びるのは、空気中の酸素と結びついて「酸化」するため。 でも、ケアウォーターはマイナスイオン化された水なので、性質的に不活性。 そのまま放置しても酸化せず、釘を入れても錆びないのです。 このため、ケアウォーター自体の性質も変化せず、いつまでも優れた働きを発揮します。

水なのに油と混ざってしまう乳化作用。

乳液の必要性は、肌に含まれる水分を蒸発させないため。 でも、ケアウォーターは水なのに油と自然に混ざるため、肌の皮脂と混ざり、天然自 家製の乳液になるのです。

肌の自然回復力をたすける。

ミネラルが肌の中から元気にする。

ケアウォーターはミネラルバランスを持った水です。 ミネラル (ミネラルバランス) は細胞を活性化し、血流を促進 したり、肌のターンオーバーなどのリズムを回復させます。 また、生命の基本的な力、エネルギーをつくり免疫力を高め るとも言われています。

ケアウォーターの浸透力で肌の真皮層に入り、ミネラルで肌を中から元気にするといえます。

ケイ素が不足すると肌の弾力が失われる。





弾力を失ったコラーゲン繊維

弾力をもったコラーゲン繊維

ケアウォーターはケイ素を多く含んだ水です。

ケイ素が不足すると肌の結合組織が破壊されることが証明されています。肌の結合組織の破壊は、肌のハリと弾力が失われていき皮膚の老化、硬化症となって現れます。ケイ素は肌線維芽細胞を増殖させエラスチン、コラーゲン線維などの破壊された組織を再生させます。